



伊藤ひろし県議会サポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



12月県議会で登壇し、一般質問を行う伊藤寛県議

12月定例県議会一般質問

「ずっと住みたいまち計画」をスローガンに、習志野市議会から県議会に活動の場を移した伊藤寛県議（習志野市選出、1期）は、12月定例県議会で登壇し、今回の台風や大雨で不備が明らかになった防災体制の改善策について県執行部に質問しました。伊藤県議の地元、習志野市にはいずれも水門が整備されていらない3つの河川が流れていますが、住民が避難する判断材料とするためにも、河川水位情報を分かりやすく公表することが必要として県執行部に考えを聞きました。伊藤県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

住民の避難判断に重要

分かりますやすく公表を

習志野3河川の水位情報

伊藤議員 習志野市内を流れる、千葉県が管理する河川が、菊田川、谷津川、高瀬川の3河川ある。この3河川は千葉県が水門用地を計画的に確保している河川であり、葛南港湾地区の数ある河川の中で、唯一、習志野3河川のみ、水門が整備されていない現状にある。水門の未整備状況にある3河川の水位情報は、住民の警戒避難の判断材料として、また、市長による市民への避難発令の正確な判断材料として、さらには市役所消防団、自主防災組織などへの迅速な浸水予防活動に向けた出動指令の判断材料として有効であると考えます。

千葉県が管理する河川の水位監視と、県民・市役所への正確な情報提供こそ、県民の生命と財産を守るためには、非常に重要。そこでどうか、習志野3河川の水位の把握はどうか。県土整備部長 菊田川、谷津川、高瀬川のいわゆる

伊藤ひろし県議プロフィール

略歴

- 1975年 富山県に生まれる
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒
薬品販売業に従事
- 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 文教常任委員会委員

資格

- 中学・高校教員免許、防災士

習志野3河川は、河川延長が非常に短く、流域も狭いことから、降雨後の水位が短時間で変化する特色があり、一方で台風接近時には潮位の影響を強く受けるため、水防活動においては、降雨量や台風接近時の潮位に注視することが重要です。このため県では、近傍の船橋市浜町地先で潮位を観測し、これを3河川を含む沿岸域の水防活動の目安として関係市へ通知するとともに、国土交通省が提供するホームページ「川の防災情報」において公表しています。

伊藤議員 習志野3河川の水位の整備について、平成22年9月県議会で、当時の県土整備部長は「東京湾内の高潮対策は、将来計画として、伊勢湾台風クラスの潮位に対応することとしており、3河川について将来的には、水門や排水機場の整備が必要である」と答弁した。今回、台風19号の際の潮位状況を資料請求して、習志野3河川の水位把握として、潮位計のある千葉港・葛南港ともに、千葉県水防計画が示す氾濫注意を超えていたという状況にあった。習志野市には、千葉県から潮位情報が通知される指令伝達系統になっているにも関わらず、通知がなかった。現在、千葉県は習志野3河川を、正しい水位監視と水位情報の公表について対象としない状況にある。水位監視体制を整備する

●県政や習志野市のまちづくりに関する相談はお気軽にどうぞ

伊藤ひろし

県議事務所

〒275-0021
習志野市袖ヶ浦 2-4-1-102
TEL.047-454-8358



議場の自席で再質問をする伊藤県議

湾岸埋立地域の水道管

地震に備え耐震化

来年度末までに50%超

伊藤議員 水道はインフラの中でも重要なものの一つである。東日本大震災の際には、習志野市においても、

水道管による漏水が発生し、断水による生活への影響を痛感した。災害が発生した際も、安定的に水を供給できる体制をつくることは非常に重要なことと、強く感じている。

そこだろうか、習志野市を含む湾岸埋立地域における平成30年度末の耐震化の状況はどうか。

企業局長 県営水道では、東日本大震災の際に湾岸埋

立地域で液状化が発生し、管路に甚大な被害を受けた。

このことを踏まえ、中期経営計画では、湾岸埋立地域の管路の耐震化を優先的に進めており、計画の最終年度である令和2年度末までに耐震化率を51.5パーセントまで向上させることとしております。

習志野市を含む湾岸埋立地域における平成30年度末の管路の耐震化率は、前年度と比べて4.1ポイント増の44.2パーセントとなり、引き続き、中期経営

計画に基づき、管路の耐震化の推進に努めてまいります。

伊藤議員 中期経営計画の湾岸埋立地域の管路の耐震化率の達成見込みはどうか。

企業局長 現計画の目標である51.5パーセントは達成できるものと考えており

ます。今後、管路の耐震化率の更なる向上に努めてまいります。

伊藤議員 湾岸埋立地域の耐震化が着実に進められていることは分かった。しかし、いつ起こるかわからない災害に備

え、少しでも事業量を上積みし、今後も耐震化率の向

上に努めるよう強く要望する。

段ボール製ベッド

災害時迅速調達配備を

伊藤議員 避難所における環境改善についてうかがう。組み立て式段ボール製の簡易ベッドの迅速な調達と配備は非常に有効であると思うが、どうか。

知事 段ボールベッドは軽く、丈夫で、避難所では直接床面に寝るよりも温かく、また、高さがあるので埃を吸い込みづらくなるなど、避難者の健康面から有効です。東日本大震災など

の大規模災害の際に活用され、被災者にも好評だったと聞いております。今回の台風15号でも、一部市町村から段ボールベッドの要請があり、県では、国からの供与や製造業者から緊急調達により確保し、君津市、市原市、一宮町などに約90個提供したところ

です。段ボールベッドは、湿気に弱いことから、備蓄

常用電源の確保対策に取り組んでまいります。

伊藤議員 どのような優先順位で更新等を行っているのか。

企業局長 非常用自家発電設備の整備については、まずは基幹施設である柏井浄水場や、給水を行っていく上で重要な施設から進めているところ

です。習志野市の県営水道給水区域へは、柏井浄水場、北船橋給水場及び幕張給水場から送水しており、

柏井浄水場では、今年度から、非常用自家発電設備の更新に伴う実施設計に取り組み予定であり、北船橋給水場及び幕張給水場についても、計画的に整備を進めることとしております。

企業局長では、停電発生時に、お客様への給水に影響が生じないよう、引き続き、非

72時間継続給水目標

浄水場に非常用自家発電機

伊藤議員 習志野市の県

水給水区域へ送水している浄水場などの施設における非常用電源の確保については、どのように考えているのか。

企業局長 企業局では、昨年9月の北海道胆振東部地震を踏まえ、一日当りの平均給水量を72時間程度継続して給水できるよう、非常用自家発電機及び燃料タンク等の増強を計画的に進めております。

また、更なる長期の停電に備え燃料を確保するため、販売事業者等と協議を行っ

事故や犯罪から子供を守ろう 安全教育の強化要望

倉庫では保管せず、企業等から直接調達することとしていますが、製造業者や関係団体と協定を締結するなどにより、災害発生時により迅速に対応できるよう努

めてまいります。

伊藤議員 段ボール製簡易ベッドの災害時の調達手段の確保と配備に向けて、防災協定の締結に取り組むよう要望する。

このため、県教育委員会では、これまでの「安全管理の手引」に、安全教育の記述を大幅に加える形で、全面改訂しているところで

す。この中で、本年3月に作成された国の指導資料を参考に、例えば、「登下校時の交通事故や犯罪など様々な場面での身を守る」と「地震、台風などの自然災害発生時に、危険を予知し、安全な行動をとること」、さらに自転車などの安全な乗り方などについても、指導のポイントなどを具体的に示すこととしております。

この手引を今年度中に作成する予定であり、教員の研修会において、授業における具体的な活用方法を周知したり、授業の実践例について協議を行うなどにより、更なる安全教育の充実を図ってまいります。

伊藤議員 作成した手引きが千葉県内の教育現場において、十分に活用されているかということが重要であると考えて

います。子どもたちの命を守るために、是非とも研修だけでなく、様々な機会に手引きを活用して教育現場における安全教育の強化に取り組むよう要望する。

伊藤議員 安全教育を強化していくためには、指導すべき内容を具体的に示し、すべての学校で指導することが重要と考えるが、県教育委員会はどのように取り組んでいくのか。

教育長 近年、子どもの命を脅かす事件や事故が続けて発生しており、安全に関する資質・能力を育成するための安全教育が重視されています。